

発議第 31 号

指定ごみ袋の導入延期を求める決議について  
上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和2年12月16日提出

提出者

流山市議会議員 植田 和子

賛成者

流山市議会議員 大野 富生

// 高橋 光

// 小田桐 仙

// 乾 紳一郎

## 指定ごみ袋の導入延期を求める決議

指定ごみ袋の制度導入は、全市民の日々の暮らしに密接した廃棄物に直接関係するだけに、制度の導入には市民の理解と納得が不可欠である。

しかしながら、指定ごみ袋の導入にかかわるパブリックコメント手続きの実施結果は、意見提出192人、意見総数439件にもなった。これは、本市の今制度上、過去最高の意見提出数である。また、電話での問い合わせや名前等がなく、パブリックコメントとしてはカウントされないものも多数寄せられているものの、市の計画への反映及び計画の変更・修正は1件もなかった。

提出された意見の大多数は、導入に対し、異論や疑問を呈しており、このまま制度導入を進めれば、市民からの反発は必至であり、行政と市民・自治会等の協働による廃棄物及び環境行政の構築への大きな支障となりかねない。さらには市民参加条例で位置づけたパブリックコメント手続き制度への信頼も失墜しかねない。

以上のことから、下記のことを求める。

## 記

- 1 指定ゴミ袋は拙速に導入しないこと。
- 2 市民の理解が得られるよう、制度導入に対する市民への説明を行うこと。

以上、決議する。

2020年12月16日

千葉県流山市議会